

# 博士論文公聴会

## 人工アユの計数形質および種苗性 に関する研究



発表者：生物圏科学研究科 生物資源科学専攻  
占部 敦史（高知県内水面漁業センター）  
会場：生物生産学部 C315  
日時：2019年1月 29 日（火）  
時間：13:00 ~ 14:00

アユは日本の内水面漁業で重要な魚種です。近年，漁獲量が減少しており，アユを増やすための増殖活動は欠かせない状況となっています。増殖活動として放流事業は日本全土で行われていますが，未だ漁獲量の回復には至っていません。そのため，放流事業については放流効果を高めることが喫緊の課題です。そこで，本研究では，効果的な放流事業を目指し，放流効果推定のための由来判別方法，人工アユの種苗性および放流手法について検討しました。

本公聴会は、生物圏科学研究科の共同セミナーとなります。  
問い合わせ先：海野徹也（内線：7944, [umi\\_no@hi-roshi-ma-u.ac.jp](mailto:umi_no@hi-roshi-ma-u.ac.jp)）